
I D O 4 . 輸入犬等検査申請事項呼出し (届出情報利用)

業務コード	内 容
I Q Y	輸入犬等検査申請事項呼出し (届出情報利用)

1. 業務概要

WEB画面から登録された輸入犬等事前届出事項を利用（届出情報利用）し、「輸入犬等検査申請事項登録」（または「輸入犬等検査申請事項登録（試験研究用）」）業務を行うため、輸入犬等検査申請事項登録画面に案内する。

2. 入力者

全利用者（税関を除く）

3. 制約事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」を参照

(B) 項目間関連チェック

なし

(3) システム状態チェック

本業務を行う場合は、~~動物検疫検査手続電算処理システム（ANIPAS）~~動物検疫関連業務が手続き可能な状態であること。

(4) DB関連チェック

(A) 利用者

①「ユーザ情報DB」に登録されている利用者であること。

②全利用者（税関を除く）であること。

(B) 届出受理番号

①「輸出入犬等検査申請DB」に登録されていること。

②無効でないこと。

③取り止めされていないこと。

④受理がされていること。

(C) パスワード

①「輸出入犬等検査申請DB」に登録されていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合のみ以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。

(2) 処理単位

届出受理番号（申請番号）単位で処理を行う。

(3) 輸入犬等事前届出事項呼出し処理

(A) 輸出入犬等検査申請DB処理

入力された届出受理番号により各種ファイルを検索し、そのデータを輸入犬等検査申請事項登録画面、または輸入犬等検査申請事項（試験研究用）登録画面に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
輸入犬等検査申請事項登録情報	用途が「試験研究用」以外の場合	入力者
輸入犬等検査申請事項登録情報（試験研究用）	用途が「試験研究用」の場合	入力者
処理結果通知	なし	入力者

7. 特記事項

特になし。